

進路だより

11月

富岡特別支援学校
移行支援部 No. 7
令和2年11月26日(木)

11月19日(木)、高等部では、群馬県教委特別支援教育課の職業自立推進事業の一環として「企業採用担当者学校見学会」を行いました。26名の企業や行政の方が来校されました。内容は、学校長からの学校概要の説明後、作業学習における生徒の様子を見学していただきました。

さらに、4人の生徒による就業体験報告、講演会では「富岡地域の障害者雇用について～障害のある方を雇用するときに必要なこと～」をテーマとし、3名の講師の方より、各機関での取り組みについて貴重なお話をいただきました。ご家庭でも参考になることがあると思いますので紹介します。



講師のお話より（企業の方々に向けて）

パーソルサンクス株式会社 とみおか繭工房 国生 英輝 様	・採用については、本人の特性、適性、志向が仕事とマッチング（一致すること）が必要。そのために実習をする。 健康管理や、日常生活管理 を見る。支援については、 本人を輪の中 に入れることが大切である。
アダストリアゼネラルサポート 岩崎 美恵子 様	・定着支援については、長く働いてもらうためには、 戦力として貢献 できる人を育成していく。自社のナチュラルサポート体制の紹介。当事者に対しては、 ゆっくり、はっきり、丁寧に、ポジティブに話すことが大切 。
障害者就業・生活支援センター トータス 佐藤 あゆみ 様	・ 実習を通して採用、就労ができるか見極める 。また、ともに働く仲間として考える。仕事に対するモチベーション、やりがいは 生活面が安定しないと意欲につながらない 。職場内の指導の体制の工夫。

作業学習見学の様子



参加者の感想より



生徒さんの真剣な眼差しが印象的でした。色々な障害があっても一生懸命に作業をしており、とても感動しました。



作業学習説明の様子



生徒の就業体験報告は、内容や本人の意識が明確であり良かったです。



校内がとてもきれいで、清潔感があふれていて感動しました。学習の様子では熱心に取り組んでいる生徒さんたちの姿を見ることができ、それぞれの個性も感じとても良かったです。

講演会では、雇用時、定着支援のポイントを聞くことができたへん参考になりました。



就業体験報告を聞き、幅広い企業が実習を受け入れていることがわかりました。引き続き、協力させていただきます。